令和9年度

鶴岡市への要望事項

9月28日の常議員会にて議決された計24項目からなる、令和9年度に向けた要望書を10月5日に鶴岡市へ、10月9日に鶴岡市議会へ提出しました。要望書提出後の意見交換においては、深刻な人手不足、物価高騰など不透明な先行きに対しての対策ほか、インフラ整備や人口減少問題への対策等多くの意見が交わされました。主な要望事項は以下の通り。

【 重点要望事項 】 ★…新規・見直し項目

1 庄内空港の利便性強化による地域活性化について

(1)庄内空港羽田線の常時5便化に向けた羽田空港発着枠政策コンテストが令和11年3月まで延期されたことを受けての戦略的対応

★(2)先に国から山形県に示された「特定利用空港」への庄内空港の追加・整備については、滑走路延長(2,500m化)を実現する好機と捉え、災害対応拠点空港の整備と併せ、正確な情報による冷静な議論のもと推進すること

(3)山形県が策定した庄内空港ビルの機能強化に係る基本計画に基づき国際線と国内線の動線分離などターミナル環境を早期に整備すること

(4)庄内空港の深刻な駐車場不足を解消するため、土地の有効活用による立体方式の駐車場などの整備を図ること

2 日本海沿岸東北自動車道朝日温海道路の整備促進について

(1)完成目標年次の明示

★(2)難工事個所の事業促進のための十分な予算確保と新たな発注方式による工事の加速

3 羽越新幹線の実現に向けた運動の強化について

★(1)今年度国が打ち出した新幹線の基本計画路線を対象とした「ケーススタディ」に関し、羽越新幹線の新潟・庄内間を調査対象とするよう強力に働きかけること

4 災害に強い地域づくりの推進について

(1)頻発する大雨等による災害から市民の生命・財産・暮らしを守るとともに、運輸・物流の寸断や観光等への打撃など地域経済への影響を減少するため、国土強靭化対策の充実を国・県に強く求めること

(2)中央工業団地及び大山工業団地における排水・除雪機能の早期整備・強化

5 新図書館の整備について

(1)新図書館の整備に当たっては、中心市街地の賑わいやまちなか観光の振興に資する多機能型施設となるよう配慮すること

6 賃上げ、人手不足、国際情勢急変の影響に関する支援強化について

★(1)地域中小事業者が対応に苦慮している賃上げ、人手不足、米国関税の課題、円安、資材・原油高騰への対応について、融資あっせん制度の拡充など支援策の充実を図るとともに、施策の拡充を国・県に強く求めること

(2)外国人雇用を促進するため、外国人雇用に関する支援機能、雇用外国人を協同でサポートする機能の整備(住宅・交通など)

7 地域経済の活性化に向けた核となる政策の明確化について

★(1)地域に民間投資を呼び込むためのプロジェクトや専門推進組織の立ち上げ

★(2)駅前ＪＡ倉庫跡地及び南銀座大型空きビルエリアの再開発を官民で構想、それを起点とした市街地エリアの付加価値を高めるグランドデザインの再構築

(3)ユネスコ食文化創造都市を観光・飲食・物産等の地域経済への波及効果が進んでいない現状を打開するため、官民連携による施策の重点化支援策を推進すること(地域産物の高付加価値化、食とまちなか観光の融合など食文化観光の具体的振興)

★(4)鶴岡遺産制度の普及促進に向けた支援の強化

(5)遊佐・酒田沖の洋上風力発電事業が促進されるよう国に求めるとともに、その経済波及効果が庄内全域に及ぶよう働きかけを強めること

8 地域交通の確保について

(1)観光や飲食店の再生・活性化の足かせとなっているタクシー不足など地域交通の課題を解決するための支援策の充実

(2)市内循環バスの利便性向上、社会基盤としての運輸公共交通を支える人材の確保に関する支援の充実

Ⅰ 急激な人件費の上昇、米国関税、円安、資材等高騰、人手不足の影響への支援強化について

1 市内事業所の経営安定化に向けた対策の強化

(1)公共事業、委託、調達等に関して、急激な人件費の上昇、燃料、資材、電気料金等の現状に応じた適正価格での発注、速やかな「スライド制」の適用、対応予算の確保

(2)建設資材高騰の中で、市のリフォーム補助制度等の補助金予算枠の拡大

(3)地域企業においては、業態転換、事業再構築、事業継承が進まず、廃業・倒産が増加しているため、経営継続を支援する補助金の新設・拡充

(4)今後さらに求められる生産性向上、働き方改革に向けた設備機器導入への補助金支援、及び年複数回の申請や労務の補助対象化の検討

★(5)地域企業の実情にあったＡＩ・DX推進支援及びデジタル人材の確保支援

(6)事業者における脱炭素、SDGsへの具体的取り組み方に関する指導支援

(7)工事、物品及び役務等の地元事業者への優先発注、契約に係る入札参加要件の精査(特に市内事業者としての資格要件実態の確認)

★(8)小規模事業者経営改善資金(マル経融資)における利子補給制度の導入

Ⅱ 人口減少、少子高齢化対策の推進

1 地域の産業経済を支える労働力の確保について

(1)高校生・高専生、山形大学農学部、東北公益文科大学等の学生の地元企業就職への働きかけ強化、高校生等のインターンシップの活用促進のための総合的な仕組みの充実

(2)大学生実践型インターンシップ「DEEP DIVE TSURUOKA」の拡充、及び若年層の地元企業定着に向けた実業高校での積極的な進路指導、オープンファクトリーの実施

(3)高校生の探求学習に地域、企業、行政が一体で協力支援していく仕組みづくり

(4)「つるおかエール奨学金返済支援制度」の周知PRの促進と対応財源確保

(5)新たなインセンティブの制度化によるＵＩターン促進の本格的取組み推進

★(6)庄内地方における鶴岡工業高校等実業学校及び総合学科の維持・存続(老朽化した鶴岡工業高校の校舎改築)

(7)若者に魅力あるまちづくりの推進(若い人が集まれる、遊べる、楽しめるエリアづくり、高校生が残りたいと思える魅力づくりと発信、若者を引き付けるイベントの一層の活性化、若い人の活動、チャレンジを支援する制度、小中学生が地域の産業・経済を知る教育及び科学・ものづくりへの関心を高める教育の拡充)

★(8)ＵＩＪターンや移住を希望、検討している人への就業マッチング支援の拡充(市内の企業の魅力情報を着実に提供する仕組みづくり、ＵＩＪターンや移住経験者へのアンケート調査に基づく対策構築、魅力ある職場環境整備のための補助金創設)

(9)女性の域外流出を防ぐため、女性が魅力を感じ活躍できる仕事づくり、地域づくりに向けた総合対策の推進、子育て環境の整備

(10)若年層が中古住宅物件を取得しリノベーションをする際の利子補給等支援制度の創設

Ⅲ 社会資本の整備促進

1 日本海沿岸東北自動車道の整備促進について

(1)早期完成に向けた要望活動の強化。特に県内内陸地域と比較して遅れが際立っている高速道整備の格差解消の強調

(2)鶴岡ジャンクションのフルジャンクション化

2 東北横断自動車道酒田線の整備促進について

★(1)未整備区間の事業化に向けた要望強化

3 市内の交通網の整備促進及び安心・安全性の向上について

(1)鶴岡東バイパスの四車線化、県道羽黒橋加茂線、道形黄金線の早期完成

(2)交差点改良、橋梁及び側溝整備の促進、市街地道路の美化(除草等)促進

4 庄内空港の機能拡充について

(1)運賃の割引など、利用回復・利用拡大につながる助成制度の拡充

(2)年間搭乗者50万人を目標としたアクションプランの策定及び取組みの強化

(3)国際チャーター便の誘致拡充、インバウンドの取込みも含めたLCCの再開

5 羽越本線の高速化及び定時運行、羽越新幹線の整備促進について

(1)羽越本線の整備、充実に向けた環境醸成、国や鉄道事業者と連携した協議の仕組みづくりとキャンペーン等を活用した利用促進の強化

(2)速達型特急の創設などによる高速化の推進

(3)安全・安定輸送に向けた施設整備の促進

6 災害に強い都市基盤の整備について

(1)河川改修の促進及び雨水対策の強化

(2)上下水道の耐震化の推進

(3)降雨量、河川の水位、道路・交通状況など、きめ細やかな情報の提供

(4)ＤＸによる防災と高齢者対策の横断的対応の推進

Ⅳ 中心市街地の活性化

1 第3期中心市街地活性化基本計画の推進に向けた事業の展開について

(1)令和5年度に策定した中心市街地活性化ビジョンを具現化するための具体的事業を積極的に盛り込み年次的に推進すること

(2)空き家・空き店舗対策の強化、空き家対策の障害となっている税制の改正

(3)鶴岡公園から中心商店街に至る道路及び内川周辺の整備など、城下町としての趣き・風情を大事にした景観の形成

(4)カラスの糞害対策の強化

★(5)TMOとの連携による計画推進(若手後継者育成、商店街への観光誘導、商店街の役割・位置づけなど政策概念の再構築、TMO補助金の増額、若者空き店舗DIY活動促進の一層の展開、パークレット社会実験事業の十分な効果検証)

(6)銀座及び日吉町商店街のアーケード老朽化の課題解決への支援

Ⅴ 産業の振興

【 全　般 】

1 会議所活動への支援拡充について

(1)経営発達支援計画に基づく新規創業、事業継続、事業承継に係る事業の支援強化

★(2)中小企業相談所補助金及び各種委託事業費の人件費・諸経費の上昇による非常に厳しい運営状況を踏まえた増額

2 国・県及び市の支援施策の適切な情報提供について

(1)各種支援施策に関する情報の適切な提供及び総合的ガイドブックの製作

(2)商工関係団体、金融機関等との情報共有及び連携の具体的推進強化

(3)産業・経済等に関する統計資料の迅速な更新及び提供

3 酒田港の活用促進と機能強化について

(1)地域産品の輸出拡大に向け庄内全体での酒田港の活用促進と機能強化

(2)洋上風力発電の基地港湾整備と連動した輸出入港としての機能整備促進

【 工業関係 】

4 企業の立地及び設備投資等に係る基盤の拡充について

(1)新産業団地における地盤沈下対策(杭打ち等)への補助制度の創設

(2)ベンチャー企業の早期の事業展開、イニシャルコスト低減に資する貸工場の整備

5 先端生命科学分野における産業集積及び産学官連携の促進について

(1)生命科学分野における今後の経済活性化戦略の明確化と支援強化

(2)研究教育機関のシーズと企業ニーズとのマッチングの強化及びサイエンスパークまつりの継続実施・拡充への支援

(3)鶴岡ガストロノミックイノベーション計画への地域企業・団体の参画促進

★(4)若い人にも魅力のあるスマート農業に特化した支援施策の推進

【 観光関係 】

6 まちなか観光の推進について

★(1)現在検討されている宿泊税は、目的税の趣旨に沿って納税者(宿泊者)に適切に便益を供する事業に充当すること

★(2)鶴岡公園150周年を契機とした"城下町"で旅行者を集める魅力づくりの促進

(3)中心市街地まち歩き観光の振興(鶴岡と内川の桜周遊、歩いて楽しむまち、ウォーカブルシティの本格的推進、鶴岡お祭りウィーク(赤川花火大会、おいやさ祭、灯篭流し)の連携強化)

(4)「天神祭」及び「荘内大祭」の拡充

(5)まちなかの魅力ある歴史伝統の建物の保存対策の強化

7 DMOを核とした観光の推進について

(1)観光振興に関する中長期戦略指針の提示及び新たな地域観光を支える観光専門人材の育成

(2)鶴岡という観光ブランドを統一的に国内外に発信する地域プロモーション推進(出羽三山、鶴岡シルク、城下町、食文化をテーマとした着地型旅行商品及び体験観光プログラムの造成、鶴岡公園の桜、赤川花火大会等をテーマとした着地型旅行商品の造成)

(3)インバウンド観光の推進(広域連携、インバウンド受入に向けたクレジットカードや交通系電子マネー等のキャッシュレス化 への支援、多言語案内看板の拡充、インバウンド受入拡大に向けた湯殿山、月山行き及び松ヶ岡行き公共交通の確保拡充)

(4)観光関係データの収集・分析及びマーケティング調査の拡充並びに観光事業者への提供

【 建設関係 】

8 公共事業の確保及び改善について

(1)今後の公共施設の計画的な整備と財源確保(クラウドファンディングやクラゲドリーム債のような公共債の導入など)

(2)ＰＦＩ等による公共事業に係る検討会の設置

(3)国発注工事に係る地元企業の受注機会の拡大

★(4)市の入札制度の制度疲労が懸念されるため、市と業界が一緒に課題を整理し解決を図るワーキングの実施

(5)働き方改革に沿った適正な工期及び工事金額の設定

(6)建築業界におけるDX化などの効率化の取組みへの支援(市における工事情報共有システム(ASP)の導入検討)

(7)工事発注後に工法選定が難航しないよう発注前の調査・設計業務の充実

(8)設計における入札価格基準について、国土交通省が品確法に基づき推奨する算定式基準の採用検討

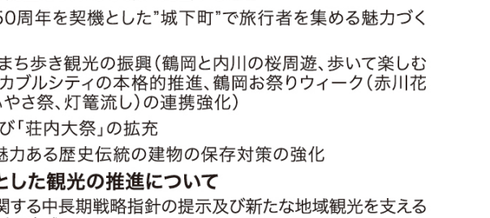
(9)今後の公共インフラ整備工事に必須となる事業者における現場作業人材の確保支援

(10)新学校給食センター、新図書館の整備に関する地元事業者活用の徹底

(11)新学校給食センターの運営について民間活用を図ること

7/21 Tue 鶴岡市と鶴岡商工会議所の意見交換会

＊会 場／新茶屋



佐藤市長をはじめとした鶴岡市幹部の皆様と、鶴岡商工会議所正副会頭・各部会長・青年部会長との恒例の意見交換会が開催されました。意見交換会では、はじめに、鶴岡市側より**①今年度の主要事業について ②鶴岡商工会議所要望事項への対応について**、鶴岡商工会議所側より今年度の事業方針及び事業計画について説明。その後、事前提出テーマである、**①庄内空港の利便性強化による地域活性化について ②日本海沿岸東北自動車道朝日温海道路の整備促進について ③災害に強い地域づくりの推進について ④新図書館の整備について ⑤賃上げ、人手不足、米国関税への対応に関する支援策について ⑥食文化を活かした経済活性化を始めとする地域内経済循環の促進について ⑦地域交通の確保について**、鶴岡市側より回答がありました。続いて正副会頭より、鶴岡駅前の大規模空き地に関する対応について、中東情勢の影響を受けている事業者への支援策について、市内二次交通の供給不足に対する対策について、庄内空港機能強化検討会議における議論について、山形新幹線の庄内延伸に関する市の対応について等、活発な意見交換が行われました。

8/5 Wed 公共事業の確保に資する研修会

＊会 場／荘銀タクト鶴岡　＊参加者／31名
＊講 師／山形県庄内総合支庁 建設部長　平山直人 氏
＊主 催／社会基盤整備委員会

地域における重要な産業である建設業の活性化のため、そして、将来に渡る公共事業確保のため、山形県の令和8年度主要施策を伺うことを目的として開催いたしました。社会基盤整備委員会に加え、建設工業部会の皆様からもご出席いただきました。講師には山形県庄内総合支庁の平山氏をお迎えし、「庄内総合支庁建設部の事業概要について」と題しご講演いただきました。県土整備部予算の概要ほか、庄内総合支庁建設部の組織、道路計画事業概要、山形県道路中期計画2028、県内産業や観光の振興を支える社会基盤となるみちづくり、河川砂防事業概要など、各種インフラ整備について幅広くご説明いただき理解を深めました。

インフラが10年後20年後のまちを形作るという想いを新たにし、官民協同によるまちづくりの重要性を認識する機会となりました。